

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	文学		
英文授業科目名	Literature		
開講年度	2004年度	開講年次	1, 2年次
開講学期	2, 4学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-人文・社会科学科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>日本を代表する人たちが、文化の曲がり角で口にした「名言」を教材にして、そのこと派に込められた「思い」を発掘する。古代から現代まで、大きな壁にぶつかった人が、どんな「言葉の力」で現実を打開したのか。</p> <p>日本文学史と日本史の学習の双方の目的を一度に達成しようと言う、欲張った講義である。「日本」および「日本人」に対する理解をどこまで深められるか。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特に、なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特に、なし。

【教科書等】
教科書：島内景二著『歴史を動かした日本語100』（河出書房新社）

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

古代・中古（王朝）・中世・近世・近代・現代の六つの時代に区分し、それぞれの代表的な名言を説明する。時代背景・人物説明・影響などについて、できるだけ詳しく、かつ楽しくレクチャーする。教科書を用いて講義するので、教室に毎回持参することが必要である。一回の講義で、2?3の「名言」を説明したい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末に、論述式のペーパーテストを実施する。この成績が、基本点となる。ただし、学期の途中に、小レポートを課す。これを提出していなければ、試験の成績からワンランクを下げることになる。数回、出席を取る。試験の採点に関しては、この講義を実際に受講して新たに獲得した知識を書いているかどうかを、重視する。いわゆる世間の常識しか書かない答案は、どんなに長く書いても「不可」である。

【オフィスアワー：授業相談】

質問等は、電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

わが国を代表する人物達の残した「名言」を教材としながら、日本人の物の考え方を勉強しましょう。歴史好きの人、言葉が好きの人、そんな人の聴講を期待しています。ただし、講義中のおしゃべりは、厳禁。

【その他】